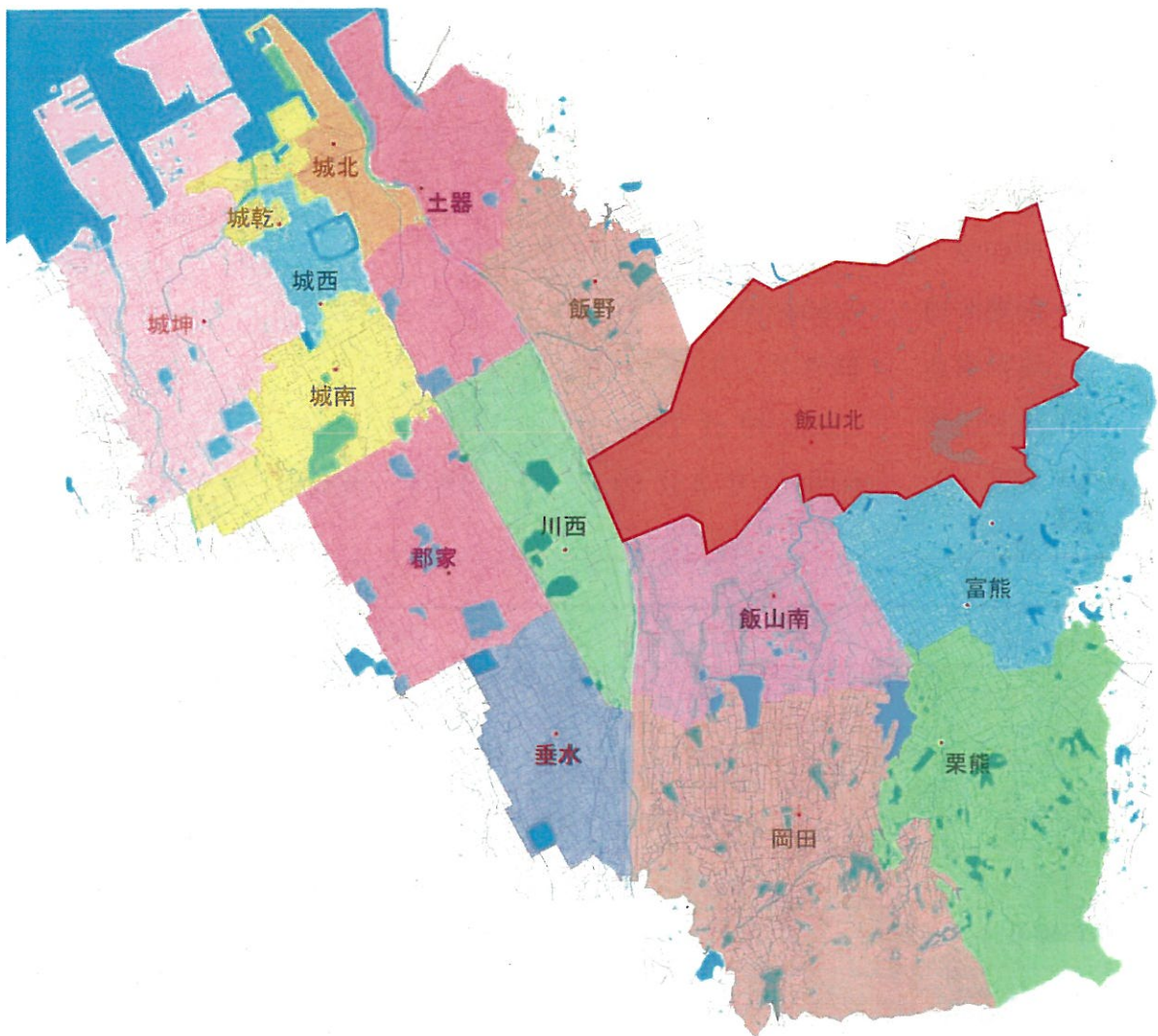


丸亀市飯山北コミュニティセンター
整備基本構想

令和4年5月

1. 飯山北地区の特性

丸亀市飯山北地区は市の南東部、旧飯山町の北部に位置し、西には土器川、中央には大東川が流れ、北には新日本百名山のひとつである飯野山があります。1年を通じて気候温暖で、北東部に広がる丘陵地帯には、春になると特産品である桃の花が一面に咲き乱れます。飯山北地区は、古くからため池灌漑による稲作を主とした農業地域として発展し、番の州臨海工業地帯の発展に伴い、民間主導型の宅地化が進みました。また、坂出市との境界には、高松自動車道の一部が通過しており、瀬戸大橋架橋等による交通の利便性を背景に田園都市として発展し、旧丸亀市との合併もあり、現在は約10,000人が居住している地域となっています。



2. 飯山北コミュニティセンターの現況

(1) 沿革

飯山北コミュニティセンターは、地区のほぼ中央に位置し、昭和 51 年に飯山老人母子保健センターとして整備され、平成 18 年に一部改修を行い、地域住民の連帯意識を醸成し、心ふれあうまちづくりを促進するため、飯山北コミュニティセンターになりました。また、飯山市民総合センターと飯山中学校に隣接しており、共に地域の核を成しています。令和 2 年度においては、開館日数 293 日で、利用人数延べ 21,155 人となっており、地区住民の生涯学習、文化活動の拠点として利用されています。また、同センターは「丸亀市地域防災計画」に避難所として指定されており、洪水、土砂、高潮、津波、火災の際に避難所として利用可能となっています。

しかしながら、平成 21 年度に耐震診断を行ったところ、建物の耐震性能を表す I s 値は 0.34 であり、耐震指標の基準値 0.6 を下回っています。また、築 45 年目となり、老朽化による施設の劣化、設備の故障も起こっています。

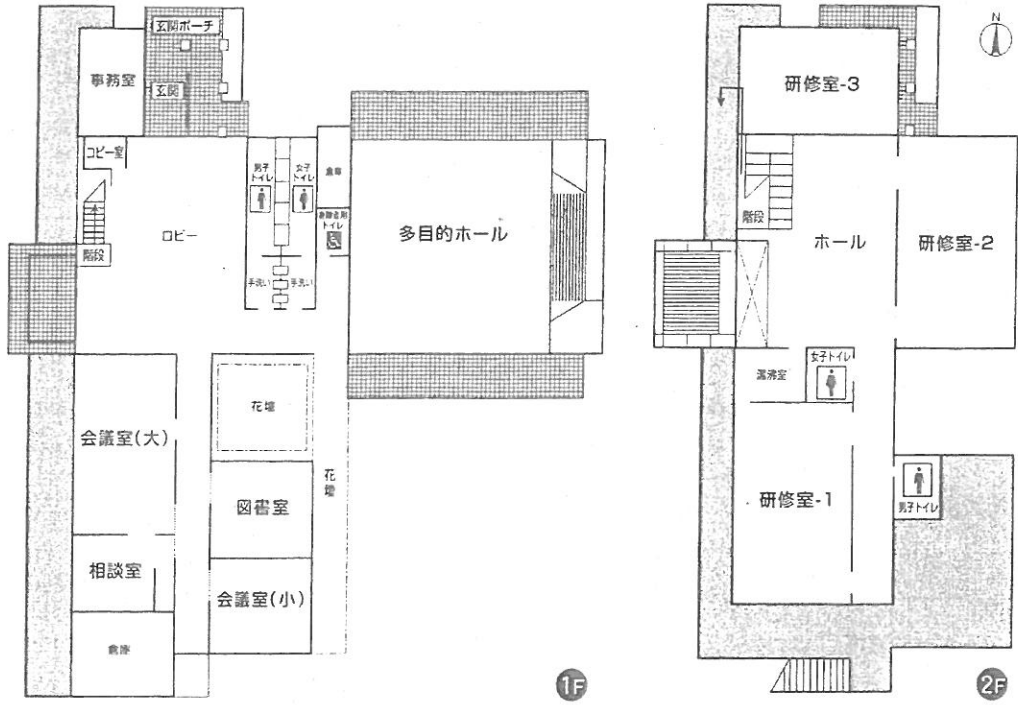
施設の概要

- ・所在地 丸亀市飯山町川原 1112 番地 5
- ・敷地面積 3,550.00 m²
- ・建物構造 鉄骨コンクリート造 2 階建
- ・延床面積 1,008.00 m² (台帳面積)
- ・竣工 昭和 51 年 3 月 30 日 (平成 18 年一部改修)

主要な部屋

室名	面積	用途
大会議室 (和)	64.64 m ²	会議、講座、軽運動
多目的ホール	159.98 m ²	会議、講座、軽運動
小会議室 (洋)	35.63 m ²	会議、講座
図書室	35.63 m ²	自由閲覧、図書貸出
事務室	25.16 m ²	センター管理、コミュニティ事務
研修室 1	50.33 m ²	会議、講座
研修室 2	72.38 m ²	会議、講座
研修室 3	72.75 m ²	講座

平面図



(2) 利用状況

飯山北コミュニティセンターの令和2年度の利用状況について、開館日数293日、利用件数1,204件、利用人数21,155人でした。

		団体利用	クラブ活動	その他	合計
大会議室 (和)	回数	164	88	0	252
	人数	2,504	516	0	3,020
多目的ホール	回数	170	70	0	240
	人数	7,791	1,087	0	8,878
小会議室 (洋)	回数	172	103	0	275
	人数	2,043	632	0	2,675
図書室	回数	3	0	0	3
	人数	312	0	0	312
研修室1	回数	192	22	0	214
	人数	2,815	214	0	3,029
研修室2	回数	195	11	0	206
	人数	2,720	101	0	2,821
研修室3	回数	14	0	0	14
	人数	420	0	0	420
合計	回数	910	294	0	1,204
	人数	18,605	2,550	0	21,155

利用回数は、例年、多目的ホールの利用が一番多いのですが、新型コロナウイルスの影響で貸館を休止していた期間があったことと、生涯学習クラブ活動等の大人数での利用が自粛されていたこともあり、小会議室が最も多く年間275回利用されました。図書室の利用は少なく、年間3回のみ利用となっています。

(3) 現飯山北コミュニティセンターの問題点について

現飯山北コミュニティセンターの施設・設備・機能面の問題点について、アンケート調査結果等から出てきたものは以下のとおりです。

- ・施設全体が老朽化している
- ・部屋の数が少なく、狭い
- ・調理実習室がない
- ・トイレの個室が少なく、狭い
- ・防音がされていない
- ・バイク・自転車置き場が特定されていない
- ・子どもが遊ぶ場所がない
- ・暗い
- ・事務室が狭い
- ・耐震性がない
- ・バリアフリー化が遅れている
- ・自家発電設備がなく、非常時の避難所として使いにくい
- ・各部屋のインターネット環境が十分に整備されていない
- ・西の日ざしが厳しい部屋がある
- ・施設全体が東に傾いている
- ・健康づくりのスペースが図書室と共用になっている
- ・各部屋に収納庫がない

3. 新飯山北コミュニティセンターの整備

(1) 施設の位置づけ

丸亀市コミュニティセンター条例には、コミュニティセンターは地域住民の連帯意識を醸成し、心ふれあうまちづくりを促進するために設置するとあります。

「第二次丸亀市総合計画」においては、重点プロジェクトの一つとして「コミュニティ活動の活性化」と「コミュニティセンターの整備」が掲げられており、丸亀市は地域コミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの計画的な整備を進めていくことにしています。

飯山北コミュニティセンターは昭和51年に建設されたものであり、平成21年度に行った耐震診断の結果、耐震強度が不足していることがわかりました。同センターは、生涯学習、文化活動の拠点として広く地区住民に利用されているうえ、同地区における地域コミュニティの活動拠点としての必要不可欠な施設であること、また、耐震不足に加え、建物や設備等の老朽化が進んでいることから、建替を行い、新センターを整備することにしました。

新飯山北コミュニティセンターを建替えるにあたって、同センターに求められる役割を主に次のとおりと位置づけ、整備を進めることとします。

○子どもから高齢者まで全ての世代がふれあい、交流できる施設

- ・住民の交流の場
- ・子どもたちが安心・安全に過ごせる場
- ・地域の相談場所

○住民のさまざまな地域活動を支援し自己実現の場となる施設

- ・生涯学習・市民活動の場
- ・まちづくりの拠点
- ・地域福祉の拠点

○住民がいきいきと健康に過ごせ、安心安全にらせることを支援する施設

- ・ 地域や市の情報受発信の場
- ・ 健康づくりの場
- ・ 防犯パトロールの拠点
- ・ 交通安全運動の拠点

○災害時における避難所機能を備えた防災拠点となる施設

- ・ 災害時の避難所
- ・ 災害時の情報受発信拠点
- ・ 地域の防災訓練の場

(2) 施設整備の考え方

施設整備には、次のことを考慮しながら、設計を進めていくことにします。

- ・ バリアフリー・ユニバーサルデザインの採用
- ・ 平屋建て・館内土足
- ・ 維持管理費の軽減
- ・ 様々な利用に対応できる設備・レイアウト
- ・ 気軽に交流ができるオープンスペースの確保
- ・ 災害時の避難所としての十分な機能（蓄電池設置の検討）
- ・ 脱炭素化に向けた設備の導入（太陽光発電設備）
- ・ 広く使える空間の確保
- ・ 十分な駐車・駐輪場の確保
- ・ 採光の確保
- ・ 気軽に入りやすい開放的な施設

(3) 施設の内容

新飯山北コミュニティセンターの部屋については、現センターの部屋を参考にしながら、アンケート調査結果等の住民のニーズをふまえたものとする必要があります。整備に当たっては、以下の施設内容を想定して、基本設計・実施設計をしていくことにします。

①多目的室

- ・軽運動室と隣接させて、可動間仕切りで部屋を分けられるようにする
- ・収納庫を隣の防音になるように配置
- ・音楽ができるように室内防音にする
- ・収納・可動式のステージを設ける
- ・作品展示場所（ピクチャーレール）の設置
- ・プロジェクター、スクリーン等の映像設備や音響設備を整える
- ・150名以上収容可能な広さにする

②軽運動室

- ・多目的室と隣接させて、可動間仕切りで部屋を分けられるようにする
- ・収納庫を隣の防音になるように配置
- ・音楽ができるように室内防音にする
- ・大型の鏡を設置
- ・音響設備を整える
- ・白板、ピクチャーレール、スクリーンの設置
- ・卓球台、ピアノを設置

③和室2室（大1、小1）

- ・茶室仕様にする
- ・床の間を設ける
- ・炉を設置
- ・座椅子を設置
- ・子どもが遊べるスペースにする
- ・ピクチャーレール、スクリーンの設置

④講座室・会議室

- ・白板、ピクチャーレール、スクリーンの設置
- ・音楽ができるように室内防音にする
- ・インターネット環境を整える

⑤調理実習室

- ・調理台の数を6台（うち講師用1台、車椅子対応1台）
- ・食器乾燥機を設置
- ・冷蔵庫2台（大きいもの）
- ・収納庫を整備
- ・荷物入れのロッカーを設置
- ・食事がとれる部屋と隣接させる（カウンターを設置）
- ・屋外から直接出入りができる
- ・調理室の外に手洗い場、屋根設置
- ・白板の設置

⑥交流スペース

- ・子どもから高齢者まで誰もが気軽に交流できるスペースにする
- ・明るく開放感のあるスペースにする
- ・木の香りがするあたたかみのあるスペースにする
- ・健康器具、フィットネスマシーンやトレーニング用具の設置

⑦喫茶スペース

- ・カフェのようにつろげるスペースにする

⑧展示スペース

- ・生涯学習クラブ等で作った作品を展示できるスペースにする
- ・作品展示場所（ピクチャーレール）の設置
- ・個展ができるスペースにする（写真、俳句、俳画等）

⑨図書スペース

- ・明るく開放感のあるスペースにする
- ・スペースの壁面に本棚を設置
- ・読み聞かせができるスペースを確保
- ・パソコンで電子書籍が活用できるスペースを確保
- ・カーペット等を敷いて、子どもが遊べるスペースにする

⑩プレイルーム

- ・図書コーナーを設ける（図書スペースと兼用）
- ・授乳室を横に配置
- ・子育て世代の交流ができる部屋にする
- ・こどもの遊び道具を設置
- ・ピクチャーレールの設置

⑪事務室

- ・施設の管理、コミュニティの事務所として使用
- ・事務所から各部屋が見えるように配置する
- ・施設内に入ってすぐのカウンター越しに事務手続きができる
- ・コミュニティや市からの様々な情報が入手できる
- ・湯沸室を設ける
- ・企画・相談コーナーを設ける
- ・書庫スペース（資料スペース）、印刷スペースを設ける
- ・白板等の設置

⑫倉庫

- ・屋外に向けての扉を設置し、外からも入れるようにする
- ・十分な広さを確保する
- ・室内換気の設定を設ける

⑬便所

- ・個室を広くし、個室の数も増やす
- ・全て洋式にする
- ・温水洗浄便座付きのトイレを設置
- ・多目的トイレを設置
- ・多目的トイレの中に授乳スペースを設置（授乳室が取れないとき）
- ・オムツ交換台を設置
- ・こどもでも使える洗面台（筆洗い場）を設置

⑭授乳室

- ・オムツ交換台を設置する

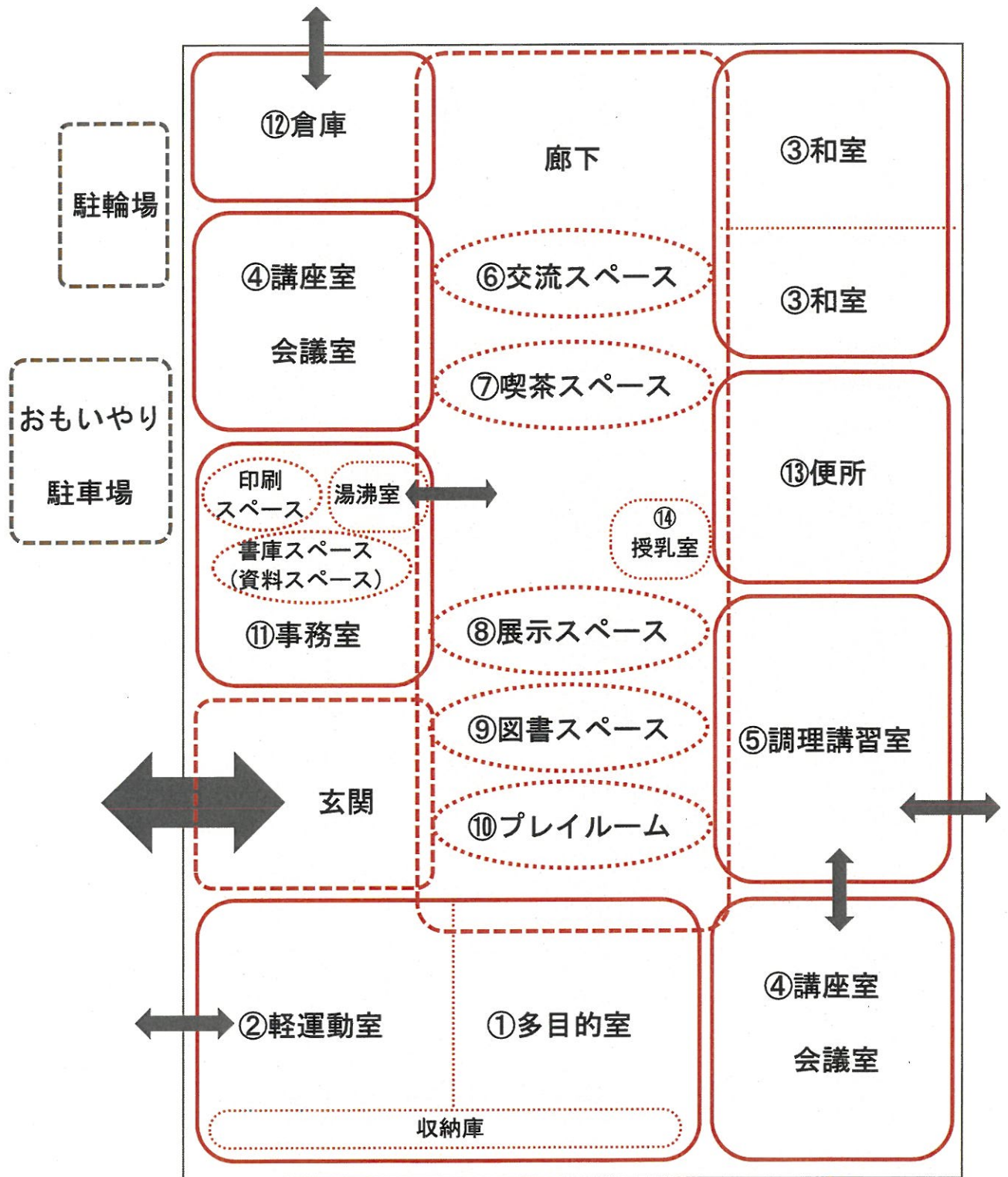
○玄関

- ・自動ドアの設置
- ・西玄関か北玄関とし、入口は設置場所の採光を考慮する
- ・屋根を広く設置する

○駐車場・駐輪場

- ・十分な広さの駐車場・駐輪場
- ・シニアカー、ベビーカーが置けるスペースをつくる
- ・喫煙スペースを屋外に設ける
- ・施設案内版の設置
- ・ゴミステーションを設置する（コミュニティセンター、近隣自治会用）

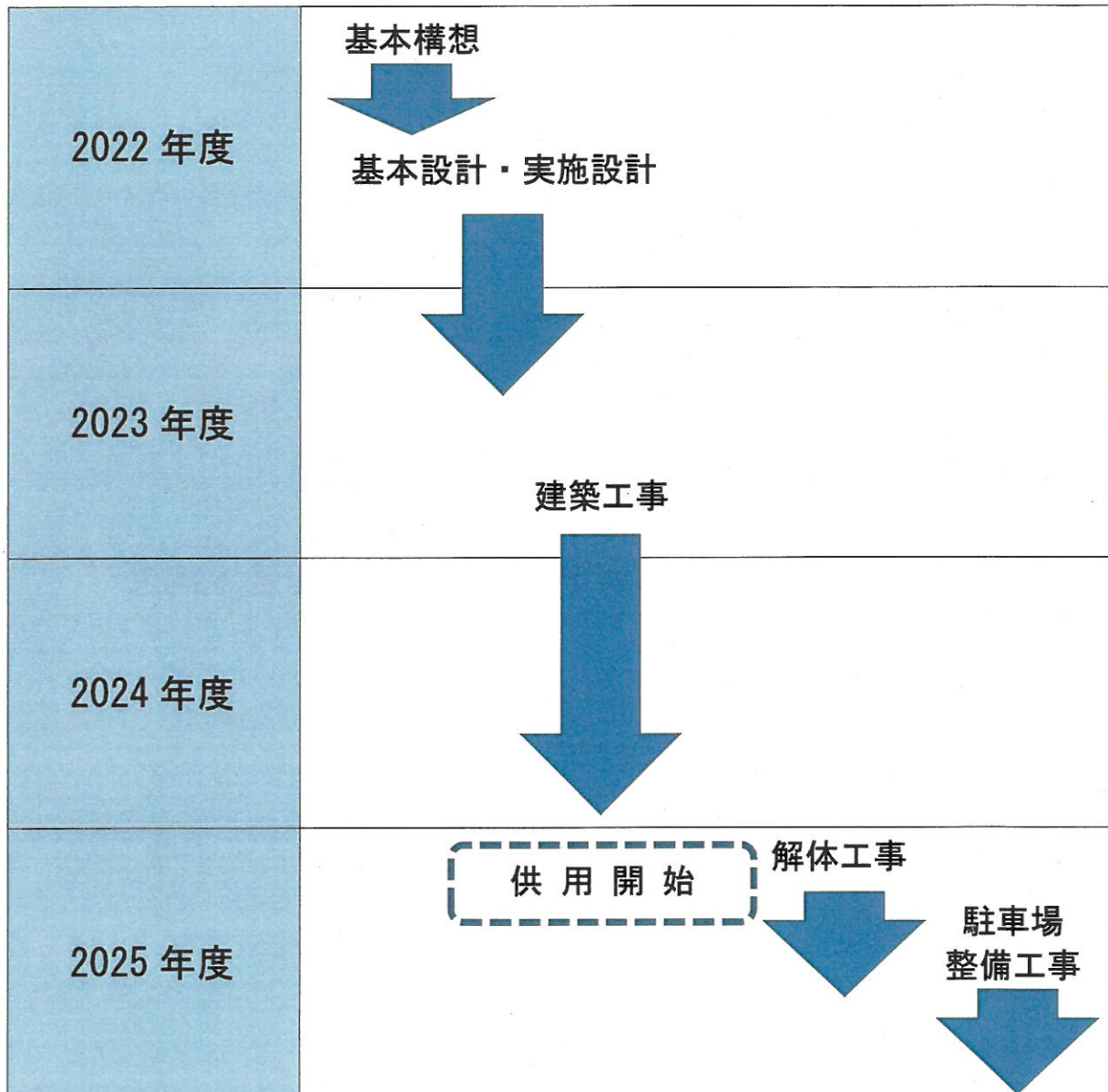
空間イメージ



※この図は、空間のイメージで方角や配置、敷地形状を示したものではありません。

4. 今後のスケジュール

飯山北コミュニティセンター整備事業のスケジュールは以下のとおりとなります。



丸亀市飯山北コミュニティセンター整備基本構想

令和4年5月

丸亀市

飯山北地区コミュニティ推進協議会